

報道機関各位

熊本大学

熊本大学発サイエンスカフェ

**「熊本地震後の被災者と高齢者のケアと生きがいのまちづくり」**

このたび、熊本大学の人文社会科学系国際共同研究拠点事業の一環として、URA(※1)推進室主催により、研究者と一般の方が、気軽に研究の話題について自由に語り合う「サイエンスカフェ」を、下記のとおり実施する運びとなりました。

今回は、本学で、紛争解決学の視点から東日本大震災・原発災害後のコミュニティの再生を研究・支援してきた石原明子准教授がファシリテーター（対話推進者）となり、福島県いわき市で震災後に行われてきた市民対話の場「未来会議」の手法を取り入れ、熊本地震後の復興のまちづくりを参加者全員で対話をしながら語る場をもちます。ゲストスピーカーには、熊本地震後の復興に参考になる宮城県の石巻市から長純一医師を迎え、東日本大震災後の経験を語っていただき、参考にしながら皆で熊本の未来を語り合います。

震災後の、これからの熊本を考える貴重な機会になると存じます。広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

※下記は、全て一般の方（興味があるかたはどなたでも）が対象で、参加は無料です。

記

-----事前特別講演-----

くまもと未来会議<sup>※2</sup> プレ企画

【日 時】平成28年11月3日（木）13時00分～13時50分

【場 所】熊本大学医学部 安全講習室301号室（熊本市中央区本荘1丁目1番1号）

**50年で別の国になる日本！その時「人生」「社会」は、そして「医療」「まちづくり」は？**

**前人未踏の超高齢社会の新しいケアサイクルとまちづくり**

講師：長谷川 敏彦（未来医療研究機構代表理事、元国立保健医療科学院政策科学部長）

---サイエンスカフェ-----

くまもと未来会議 テーマ ～熊本地震後の被災者と高齢者のケアと生きがいのまちづくり～

【日 時】平成28年11月3日（木）14時00分～17時15分

【場 所】同上：熊本大学医学部 安全講習室301号室（熊本市中央区本荘1丁目1番1号）

**東日本大震災後の被災者と高齢者のケアのために必要だったこと**

**:地域包括ケアによる復興のまちづくり**

講師：長 純一（石巻市立病院開成仮診療所長・石巻市包括ケアセンター長）

**みんなで語ろう・対話ワークショップ**

ファシリテーター： 石原 明子（熊本大学 社会文化科学研究科 准教授）

<申し込み方法等は、次のページにあります>

【申込方法】 下記申込先に、E-mailにてお申し込みください。

【申込先】 熊本大学 URA 推進室 E-mail : kenkyu-seminar@jimu.kumamoto-u.ac.jp

件名に、「サイエンスカフェ参加申し込み」と記載いただき、以下の必要事項を本文に記載下さい。

1. 氏名
2. ご所属またはご職業
3. 前半の「プレ企画特別講演」、後半の「くまもと未来会議」のどちらに、または両方に参加するか
4. 今後、熊本大学の関連イベント情報をお送りしてよいか
5. その場合、その連絡先メールアドレス

※定員（100名）を超え次第、受け付け終了させていただくこともございます。

※内容の理解を深めるためには、両方の参加をお勧めしております。（どちらかのみも可）

**【申込締切】 前日・11月2日（水） 14:00まで**

◆詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

URL : <http://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu/news/20161103>

【お問い合わせ先】

熊本大学 URA 推進室: 黒木・福田

TEL:096-342-3303・3307

research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp

※1 URA: 研究コーディネーター (University Research Administrator)

研究者とともに研究活動を組織として円滑に実施するための業務を行う専門的な職員

※2 平成20年8月に県が設置した「くまもと未来会議」とは異なる、東日本大震災の時から始まった市民ベースの活動としての「未来会議」です

熊本大学発→サイエンスcafé

どなたでも  
お気軽に  
ご参加ください

# くまもと未来会議

講演 × 対話ワークショップ  
(ワールドカフェ)



## 熊本地震後の被災者と高齢者の ケアと生きがいのまちづくり

入場  
無料

11月3日(木・祝) 14:00-17:15

熊本大学医学部 安全講習室 301号室  
(場所は裏面参照)

13:00~13:50には、  
プレ企画特別講演(下記)

ゲストスピーカー 長純一氏(石巻市立病院開成仮診療所長・石巻市包括ケアセンター長)

「東日本大震災後の被災者と高齢者のケアのために必要だったこと

:地域包括ケアによる復興のまちづくり」

みんなで語ろう・対話ワークショップ(ワールドカフェ)

ファシリテーター熊本大学 石原明子准教授

★前半のゲストスピーカーからの東日本大震災での経験のお話を参考にして、後半にみんなで震災後のくまもとの未来を語り合います★

プレ企画特別講演

※特別講演と「くまもと未来会議」の両方に連続してご参加いただくと、より内容を深くご理解いただけますが、片方だけの参加も歓迎です。

「50年で別の国になる日本! その時『人生』『社会』は、そして『医療』『まちづくり』は?  
前人未踏の超高齢社会の新しいケアサイクルとまちづくり」

講師: 長谷川敏彦氏(未来医療研究機構代表理事 元国立保健医療科学院政策科学部長)

入場  
無料

11月3日(木・祝) 13:00~13:50 場所: 上記の「くまもと未来会議」と同じ部屋

共催

熊本大学 大学院先導機構 URA 推進室  
人文社会科学系国際共同研究拠点  
熊本大学拠点形成研究A「紛争解決学と合意形成学の拠点形成」  
熊本大学大学院社会文化科学研究科 交渉紛争解決学領域



## 申込先 熊本大学 URA推進室

kenkyu\_sen\_inai@jinu.kumamoto-u.ac.jp

QRコードからも  
お申し込みいただけます



タイトルを「サイエンスカフェ申し込み」とし、本文に下記必要事項を記載下さい。

1. 氏名
2. ご所属またはご職業
3. 前半の「ブレ企画特別講演」、後半の「くまもと未来会議」のどちらに、または両方に参加するか
4. 今後、熊本大学からの関連イベント情報をお送りしてよいか
5. その場合、その連絡先メールアドレス

※定員（100名）を超え次第、受け付け終了させていただくこともございます。

## プロフィール

### くまもと未来会議

ゲストスピーカー：長 純一 氏

石巻市立病院開成仮診療所長、石巻市包括ケアセンター長。東北大学臨床教授。長野県の佐久総合病院で農村医療の父・若月俊一氏の下で学び、総合内科医として地域医療・包括ケアを実施する。2012年より、東日本大震災により被災した東北最大の2000戸の仮設住宅内の診療所の所長となる。厚生労働省の在宅医療連携拠点にも指定される。石巻の復興の重要政策である地域包括ケアをけん引する。2016年7月に東北支援で、第5回杉浦地域医療振興賞を受賞。2016年4月の熊本地震発生後は、震災復興と地域包括ケアの充実の助言に継続的に熊本に関わる。

ファシリテーター：石原 明子

熊本大学大学院社会文化科学研究科交渉紛争解決・組織経営専門職コース長、准教授。専門は紛争解決学。京都大学院修了後、国立医療病院管理研究所、国立精神保健研究所、国立保健医療科学院、日本医科大学で医療政策の研究に従事。高齢化のケアサイクルやまちづくりのプロジェクトに従事。2008年に熊本大学に紛争解決学教員として赴任。東日本大震災後は原発被災者の人間関係葛藤の解決支援とコミュニティ再生支援に取り組む。熊本地震後は、人間関係葛藤予防としての心のケアの支援、復興のための対話ワークショップなどを行う。



### 特別講演

セミナー講師：長谷川 敏彦氏

大阪大学医学部卒業。米国で外科専門医として活躍後、1981年ハーバード大学で公衆衛生修士号を取得。厚生労働省を経て、国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長、国立保健医療科学政策科学部長、日本医科大学教授を経て、現職。著書『病院経営戦略』は世界10か国語以上に訳されている。「生活不活発病」の概念など、高齢社会のケアサイクルの基礎となる理論や概念の提案者でもある。



## 熊本大学医学部 安全講習室 301号室

熊本大学医学部 熊本市中央区本荘1丁目1-1 (右図⑬番 3階)  
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/honjyo-kita>

- ◆JR熊本駅から  
都市バス：第一環状線〔駅2〕〔大学病院・大江渡鹿経由〕「大学病院前」下車
- ◆交通センターから  
都市バス：八王子環状線〔南1〕流通団地線〔南4〕「大学病院前」下車

・駐車場は限りがありますので、  
できるだけ公共機関にてお越しください。



## 未来会議って何？

東日本大震災で被災した福島県いわき市で、震災後の未来を語る対話の会として発足。今回、東北やいわきからの希望を熊本につなぐ対話として、熊本地震後の未来を語り、出会い創っていく「くまもと未来会議」を発足。

## サイエンスカフェって何？

カフェのような気軽な雰囲気の中で科学を語り合おう

身近にある科学について、ゲストが分かりやすく解説します。

疑問に思うことは何でも聞いて下さい。

お問い合わせ 熊本大学 URA推進室 担当：黒木（くろぎ）・福田 096-342-3303・3307

research\_coordinator@jinu.kumamoto-u.ac.jp